

保谷二小 研究便り

令和 6 年 11 月 5 日
西東京市立保谷第二小学校
校長 三澤 亘潤
研究推進部主任

研究主題 自ら探究する児童の育成 ～ 「市民科」単元開発を通して ～

～第2回研究授業 10月25日(金)～
6年 市民科「自分で未来を切り拓く」

高学年では、地域の人、もの、ことの中から課題を設定し、主体的・対話的に探究して発信しようとする児童の育成を目標に設定し、取り組んでいます。

6年生の児童は昨年度、メニュー開発を経て「起業」する体験をしてきました。販売する中で、税や利益といったお金に関することも触れてきています。今年度はその経験を踏まえ、税のことを学んだ上で、魅力のある日本一の街にするためには、どのようなことに重点を置いて「税」を使うといいのかといったことをテーマに、社会科や家庭科、総合的な学習の時間との複合単元で実施しました。

まずは税について租税教室で知ることから始まり、西東京市役所の財政課職員の方から市の財政の現状を知る活動などをした後に、調べ学習などで「詳しく知る」取り組みを行いました。

研究授業では、AIによる4つの党(安全、教育、環境、活き活き)のマニフェストを聞き、魅力のあるまちづくりに対する自分の考えをもつことからスタートしました。その後、多くの友達と意見交流する場を設定しました。交流したことで、自分の考えを深める児童、自分と違う考えに魅力を感じて意見を変更する児童、他の党との考え方に関連性を感じて視野を広げる児童と、いずれも多面的・多角的な視点をもって思考することができました。



授業後は、選んだ政策ごとにグループを組み、党首を選出して、自分たちの意見をより相手に伝わるよう、試行錯誤しながら提言を考えています。

また、考えた内容が相手に実際に伝わるかを、1学期のミニ職場体験で関わりをもった地域の方に報告し、意見をいただき改善等を行っていきます。その後、西東京市の議場へ行き、自分たちの意見を提言していく予定です。